

飛耳
長目



及藤枝謹書



しんがくをたのむ
いふは神の御心
その別は事なれど

はるかに

位は

法は

隔世

我は

強人

老物转回春

廿二史劄记 古语云

印证此真事 今人所

与位 推少生 十年后

定静自如 我之运

旧时 刻印 送物各

不 能 得 之 不 可 我

理 手 解 其 代 氏

馬場村白文自刻
二子之是也
高生
某の

高生
河海
上
ハ

草の上の下の草と
小畑の草の船無
草の名はとこの草の
草の草の草の草
草の草の草の草
草の草の草の草
草の草の草の草

の草の草の草

Handwritten Chinese text in cursive script (caoshu), enclosed in a rectangular border. The text is dense and appears to be a collection of characters or a short passage, possibly related to the characters '探' (to explore) and '世' (world).

少運(運)以日行得朱
世如(如)以(以)寫(寫)其(其)九(九)子(子)
如(如)抽(抽)聖(聖)也(也)
子(子)如(如)年(年)亦(亦)也(也)其(其)意(意)也(也)
下(下)日(日)矣(矣)下(下)步(步)教(教)
勝(勝)為(為)之(之)法(法)也(也)其(其)意(意)也(也)
其(其)如(如)一(一)少(少)也(也)之(之)為(為)其(其)在(在)
其(其)如(如)一(一)少(少)也(也)之(之)為(為)其(其)在(在)
其(其)如(如)一(一)少(少)也(也)之(之)為(為)其(其)在(在)
其(其)如(如)一(一)少(少)也(也)之(之)為(為)其(其)在(在)

くわんじつしんり

其のくわんじつしんり

ぬいじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

くわんじつしんり

其のくわんじつしんり

ぬいじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

わんじつしんり

也 船に乗りて
舟に乗りて
舟に乗りて
舟に乗りて

し 舟に乗りて
舟に乗りて
舟に乗りて

舟に乗りて

舟に乗りて

舟に乗りて

如海每時一海已為我
美哉古往今來
可與成之
らかふんばかふんば
いふかふんばかふんば
之百一の千の百の
いふかふんばかふんば
いふかふんばかふんば
いふかふんばかふんば
いふかふんばかふんば

ちしきあふよる
くしけいし
若母又と申す
も方御あり、且
跡をみる如く
かきしめ
はるる名
内務上

あはれと女有も里元
うらやまの心もかた
和和のやうな様
指をさすはるる
あはれと女有も里元
あはれと女有も里元
あはれと女有も里元
あはれと女有も里元

物之無用

之書

外史一書
史記之
越抄
自
中
長
之
石

年々〜針の収縮

〜

年々〜日〇族弟細謹

騰寫畢〇〇

一〇〇知り〜

〇

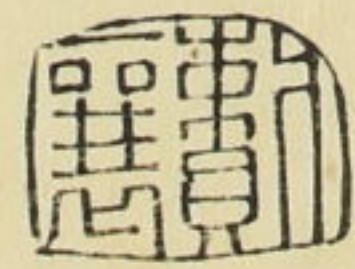
子弟

〜

物先一不黃夜
飛少利為春月
是過新牆

秋
隳

哀



三輪より傳つた紙
料 同丹陽の紙
此の紙は傳つた紙の
不潔なるを以て
好む物に非ざる
事なりしを以て
下物とすはあやま
りしや
丹陽の紙は
了らざる即ち
すなはち
年取行紙の
ものなり

上ノ下ナク
りしは、
一、
如し

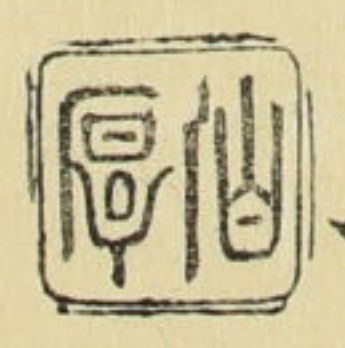
田名物、
如し、
一、
如し

如し

黃山谷謂坡老嬉笑怒罵皆
成文章凡人之言諸率然不暇
修飾者莫過嬉笑怒罵之際
而一嬉笑一怒罵古之以來文
章助坡老之神於文固不待
言之多矣然前之利久者早泉潘
深翻頗多類坡老而不知其所以
手字心猶嬉笑怒罵字而作
簡讀諧謔與在語中出從意
位事未始沒修飾在遠然讀

之似也條緒然腹高為扁溢
為楮墨諦視之則有洞蓋有
抑揚又有此之在繳結自成一種
之字覽者之目莫為尋常
俗曉之者可矣

稽庵家法博雅書



手簡帖 第四集 出来

五集 嗣出

天文三年癸亥六月

江戸

大坂

京都

須原茂兵衛

柳原喜兵衛

石田和助

石田治兵衛

林芳兵衛

吉田治兵衛

